

当院の管理達成状況（2022年2月時点）

	2021.9月	2022.2月	JSDT2018
真ん中のカテゴリー	62.4%	66.6%	54.1%
Ca濃度	76.1%	80.3%	80.2%
P濃度	80.4%	71.2%	65.8%
インタクトPTH濃度	98.0%	87.8%	63.2%

まとめ

- ✓ 生命予後の観点からは $P > Ca > PTH$ を意識する。
- ✓ P濃度は厳格管理したほうが予後は良好である。
- ✓ リンは持続的にコントロールする必要がある。
- ✓ 栄養状態を重視したうえで、リン吸着剤を用いてリンの管理を行う。
- ✓ Ca濃度は症状が出現する可能性があるため、薬剤変更などの管理を必要とする。
- ✓ カルシメテックスはPTH低下作用だけでなく、副甲状腺体積の縮小や血管性石灰化など多面的な効果が期待される。
- ✓ Ca, Pの9分割図は自己管理の傾向を把握できる。